

第29回

教文研教育シンポジウム

テーマ

インクルーシブ教育への転換

～共生社会における学校づくりをめざして～

インクルーシブ教育は、障害のある子どもを始めとして、外国につながる子ども、不登校の子ども、少数民族の子ども、社会的に不利な状況に置かれている子どもなど、支援を必要としているすべての子どもを対象に、そのような子どもを他の子どもから分け隔てせず、共に生活し学び合う「共生共育」の実現をめざす教育のことです。

昨年、障害者差別禁止条約に基づいて「障害者差別解消法」が制定され、来年には施行されます。「それがなされないことは差別」という「合理的な配慮」の考え方に基づいた教育は、インクルーシブ教育を推進する観点からとても重要な考え方です。

現在の学校現場には、様々な個性を持った子どもたちが通ってきています。一斉授業や知識伝達型の授業では、こうした多様な個性には対応できにくくなっているのが現状です。

すべての子どもを排除しないインクルーシブな教育実現に向けて、それぞれ専門的な立場からの提言を受けて、新しい学校づくりの方向性を探ります。また、「ともに生き、ともに学び、ともに育ちあう」共生社会にふさわしい学校となるため、学校や教職員の課題は何か、参加者の皆さんとともに考えたいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。



日時 2015年11月28日(土)

13時30分 受付開始

14時～16時30分

会場 平塚市教育会館 大会議室

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12番41号

TEL. 0463-34-1166

平塚駅から徒歩10分

シンポジスト

- 障害児に関わる教育から 徳田 茂
(「障害児を普通学校へ・全国連絡会」運営委員)
- 外国につながる子どもに関わる教育から
(県内公立学校教員)
- 社会的に不利な状況に置かれている子どもの教育から
(県内公立学校教員)

コーディネーター

- 青木純一(日本女子体育大学教授・教育学)



入場無料・直接会場までお越し下さい。

*保護者や地域にも声を掛けてください。

*お問い合わせは、神奈川県教育文化研究所

(横浜市区藤棚町 2-197 ☎ 045-241-3497)

■主催／神奈川県教育文化研究所
(一財)神奈川県教育会館

■共催／中地区教育文化研究所

■後援／神奈川県教育委員会 平塚市教育委員会

(一財)神奈川県高等学校教育会館教育研究所